

夏休み図書館親子ツアー



宮城県図書館では毎年8月に「夏休み図書館親子ツアー」を実施しています。

この「夏休み図書館親子ツアー」は小学校低学年の子ども達とその保護者を対象とし、行っているものです。目玉として、ツアー時にしか立ち入ることの出来ない場所や見る事の出来ない資料、職員の仕事の様子を紹介し「図書館の裏側」を探索していただいています。今年度は「しかけ絵本」や館内の壁面や柱に埋まっている「化石」を紹介しました。

ツアーの感想(一部抜粋)として

おもい本とかふるい本がみれて、とてもうれしかったです。(1年生 男の子)

たくさん本を運ぶための工夫や、収納するための閉架書庫があるという事を教えてもらえて、子どもにとっていい経験になったと思います。(保護者 お母さん)

といったご意見をいただきました。

施設見学の様子



今年度は宮城県米山高等学校や大崎市立上野目小学校など1月末現在で24の団体が見学にいらっしやいました。写真は泉館山高校の生徒さんの見学の様子です。

夏休み中には高校の図書委員会の生徒さんが図書館の仕事を学ぶため、9月から10月には小学生が遠足で多くいらっしやいます。

▲ 4階閉架書庫に保存してある新聞を見学している様子。
当館では『河北新報』だと明治30年(1897年)4月のものから所蔵しています。

搬送機



利用者から申込みのあった資料を早急にお届けするために、1階から4階までの館内各所に搬送機を配置しています。緑の箱が搬送箱。この箱に資料を入れ各カウンターへと送付しています。

マイクロフィルム



3階新聞・雑誌室、みやぎ資料室はマイクロフィルム約17,000本を所蔵しています。マイクロフィルムは資料の現状を記録するとともに、閉架書庫のスペースを効率的に活用するために作製しています。その作製方法は、新聞(原紙)をフィルムに1枚ずつ撮影しています。マイクロフィルムは専用の保存棚に収蔵し、適切な温度・湿度のもとで管理しています。100年～500年の寿命があると言われていいます。

閉架書庫

『正式二万分一地形図集成 東日本』(柏書房 2001年)といった地形図や『広重名所江戸百景』(岩波書店 1992年)といった美術書など様々な種類の本を保存しています。当館所蔵の一番重い資料には『朝鮮半島五万分の一地図集成』(学生社 1984年 46×63cm 重さ約20kg)があります。

書架12架(23列)分の資料が超大型本として登録されています。

閉架書庫

外国語図書室

新聞・雑誌室

Q5 働いている人は何人いますか?どのような仕事がありますか?

A5 約80名の職員が働いています。(うち正規職員は40名)主な仕事は、資料の貸出、返却の他、購入する資料の選定・整理、レファレンスサービス、資料の相互貸借を行っています。その他にも展示会の企画、広報、ホームページの運営など様々な仕事があります。

上で紹介した職員の他にも事故の発生の警戒・防止のため図書館の内外の見回りをする警備員、利用者に図書館を気持ちよく利用してもらうため館内の掃除をする清掃職員などたくさんの人が働いています。また、ボランティアとして、本を並べる作業や絵本の読みかせ、展示室の案内等を協力してくださる方もいます。

Q6 どのような種類の本が多いですか?

A6 日本十進分類表(NDC)というルールに基づき10のテーマに分け、本を並べています。物語や詩など9類と呼ばれるものが一番多いですが、そのほかにパソコン関係、宗教、歴史、地理、伝記、社会に関すること、自然に関すること、医学や洋服、食べ物、電気、絵、音楽、言葉に関することなど多種多様な本があります。